



特集折り込みを  
ぜひ御覧ください！

# はままつ 市議会だより

第208号

令和8年5月5日

身近な市議会を目指して

-新たな議員定数の決定-



浜松市議会では、次回市議会議員選挙から議員定数を  
46人から44人に変更することを決定しました。

## もくじ *contents*

◎ 2月定例会のあらまし	P 2
◎ 可決した主な議案	P 3
◎ 常任委員会の状況	P 4
◎ 代表質問	P 6
◎ 一般質問	P 7
◎ 資産等の公開	P10
◎ 特別委員会の活動状況	P11

市議会の詳しい情報は  
ホームページで公開しています

浜松市議会

検索



# 2月定例会 8年度予算 総額約7517億円を可決

## 「元気なまち・浜松」の実現へ

2月定例会は、2月19日から3月23日までの33日間にわたって開催しました。

### ◎補正予算などを可決

2月19日の本会議では、7年度関係議案41件について、所管の各常任委員会へ審査の付託をしました。

### ◎市長が施政方針を表明

2月26日の本会議では、常任委員会で審査した7年度関係議案41件について、採決した結果、いずれも原案のとおり可決しました。

また、8年度関係議案の上程に当たって市長から施政方針の表明がありました。その中で、「元気なまち・浜松」の実現に向け、特に物価高対策、産業振興、若者や女性に選ばれるまちづくり、災害に強いまちづくり、中心市街地や中山間地域の振興などに重点的かつ部局横断的に取り組み、次の世代に引き継いでいくとの決意が述べられました。



8年度施政方針を表明する中野市長

### ◎代表・一般質問に12議員

3月6日の本会議では3会派が代表質問を、また3月9日及び10日の本会議では9議員が一般質問を行い、市の施策について考えをただしました。

### ◎8年度関係議案などを可決

3月23日の本会議では、8年度関係議案37件について、各常任委員長から審査の経過と結果が報告された後、8年度一般会計予算などに対し1議員から反対討論、1議員から賛成討論があり、採決した結果、いずれも原案のとおり可決しました。また、議員の定数等に関する条例の一部改正について、議会運営委員長から提案理由が説明された後、1議員から反対討論があり、採決した結果、原案のとおり可決しました。

また、土地利用審査会委員の選任案及び人権擁護委員の候補者推薦案に同意したほか、議会提出議案のうち意見書7件を可決しました。

議会議程表																
27日	23日	19日	17日	12日	11日	10日	9日	6日	5日	26日	25日	20日	19日	12日	5日	
特別委員会	危険管理・交通政策 採決・2月定例会閉会	議会運営委員会 本会議(8年度関係議案)	特別委員会 大型公共施設建設	地方創生特別委員会 各常任委員会	各常任委員会	本会議(一般質問)	本会議(一般質問)	本会議(代表質問)	議会運営委員会 本会議(7年度関係議案)	議会運営委員会 本会議(7年度関係議案採決・8年度関係議案上程・施政方針)	議会運営委員会 本会議(7年度関係議案)	危険管理・交通政策 特別委員会	本会議(2月定例会開会・7年度関係議案上程)	議会運営委員会 本会議(2月定例会開会)	各常任委員会 特別委員会	各常任委員会 大都市制度・行財政改革 特別委員会

議会活動の経過

## 可決した主な議案

### 8年度一般会計予算 総額4401億円

- ◆道路・河川の維持管理や老朽化対策により、防災・減災、国土強靱化を推進します。  
317億8430万円
- ◆西部清掃工場の老朽化に伴い、代替となる清掃工場を更新用地に整備します。  
46億7270万円
- ◆小・中学生の通院にかかる医療費を、令和8年10月診療分から無料とするなど、こどもの医療費について自己負担額の見直しを行います。  
44億3425万円
- ◆遠州灘海浜公園江之島地区に国内最大級のビーチコートを整備し、「ビーチ・マリンスポーツの聖地」を目指します。  
13億5941万円



ビーチコートの完成イメージ図(中央区江之島町)

- ◆エネルギー価格高騰の影響を受けている自治会の負担軽減のため、自治会集会所におけるLED照明器具の導入などに対し、臨時的に補助金を交付します。  
4億5000万円
- ◆安心・安全な保育環境の充実を図るため、1歳児5人に対して保育士を1人配置した場合の助成制度を設けます。  
8082万円
- ◆政令指定都市として全国初の全国棚田サミットを開催し、棚田を通じた地域活性化を目指します。  
2074万円



- ◆動物園の利便性向上と来園者サービスの充実を図るため、園内カートを行います。  
1300万円

## 可決した意見書

意見書とは、国や県などが実施すべき事項について、議会の意思を意見としてまとめ、内閣総理大臣や関係行政機関などに対して提出するものです。

- ◆中山間地域における持続可能な地域包括ケアシステムの構築に関する意見書
- ◆農地相続制度の見直しを求める意見書
- ◆多文化共生のための社会基盤整備を求める意見書
- ◆太陽光発電設備のリサイクル推進及び適正な廃棄処理に関する意見書
- ◆大規模災害に対応する体制整備を求める意見書
- ◆公共施設等適正管理推進事業債の期間延長を求める意見書
- ◆認定新規就農者制度における年齢要件の見直しを求める意見書

## 陳情書、要望書をオンラインで提出できるようになりました



地方自治法の改正に伴い、議会における手続きのオンライン化を進めるため、8年4月1日から、陳情書、要望書のオンライン提出が可能となりました。

# 常任委員会の状況

3月11日、12日に開催した各委員会での審査の概要です

## 建設消防委員会



## 市民文教委員会



●道路企画デジタル運営  
経費について

【質疑】道路損傷通報サービス「いつちゃお！」にヒヤリ・ハット事例のメニューを追加することで期待される効果は。

【答弁】7年中に発生した交通事故は出会い頭事故が多く、生活道路の安全対策が急務である。身近な場所でのヒヤリ・ハット事例を収集することで、潜在的な危険箇所の把握が可能となり、効果的な対策を取ることができるとしている。

●高規格救急自動車への電動ストレッチャー導入事業について

【質疑】救急自動車への電動ストレッチャーの整備計画は。

【答弁】車両の更新に合

わせて、順次電動ストレッチャーを装備していく。稼働中の救急自動車は24台であり、毎年4台程度を更新することから、約6年で稼働中の車両に行き渡る計画である。

●浜松市自転車等駐車場条例の一部改正について

【質疑】有料化する自転車等駐車場の使用料の支払い方法は。

【答弁】使用料は主に定期利用と一時利用に区分され、定期利用は専用の定期ICカードや交通系ICカード、一時利用は現金やQRコード決済、クレジットカード決済など、広く利用されている支払い方法を想定している。

【質疑】有料化する自転



有料化後の自転車等駐車場のイメージ

車等駐車場の周辺に放置自転車が増加することが想定されるが、対策は。

【答弁】JR浜松駅周辺は即時撤去を行う放置禁止区域と2日後に撤去を行う放置規制区域に区分されるが、鍛冶町通りエリアに新たに有料の自転車駐車場を設けるため、同エリアまで放置禁止区域を拡大し、放置自転車対策を強化していく。

●山里いきいき応援隊活動事業について

【質疑】定数を1人増やすとのことだが、現時点で定数に達していない状況にある。隊員増に向けた取組は。

【答弁】各種イベントでの募集案内や、現役隊員からの情報発信に加え、7年度から地域おこし協力隊の専用ポータルサイト「スマウト」へ登録し、隊員の募集を行っている。

●三ヶ日マリンスポーツ拠点整備事業について

【質疑】三ヶ日マリンスポーツ拠点への交通アクセス上の課題に対する考えは。

【答弁】整備を予定する拠点施設の周辺道路は幅員が狭く、すれ違い困難な箇所もあること

から、拠点整備に併せて、周辺道路整備の検討も進める。

●スクールソーシャルワーカーについて

【質疑】決算審査特別委員会の指摘事項にあつた処遇改善、人員増などへの対応は。

【答弁】待遇改善については、関係各課との協議を進め、前向きに検討するとともに、定員についても、現在の22人から26人へ、4人の増員を予定している。

●学校給食費の無償化と保護者負担の軽減について

【質疑】物価高騰が続くことから、先行きを不安視する声があるが、今後の見通しと方針は。

【答弁】小学校については国の方針が示されて

おり、給食費負担軽減交付金が制度化されたことから、今後も継続されると考える。一方で、国の物価高騰に対する臨時交付金が継続されない場合は、その部分について、市費による負担を検討する可能性はあるものの、小学校給食費の無償化が国策であることを踏まえ、国による完全無償化に向け要望していく方針である。



小学校給食

# 総務委員会



# 厚生保健委員会



# 環境経済委員会



## ● TikTok広報動画発信事業について

**質疑** 事業のねらいは。

**答弁** 7年度に本市が実施したアンケート調査によると、若年層の約40%がTikTokで情報収集していることから、TikTokで本市の事業などを発信し、若年層に市政への関心を持ってもらうものである。

## ● 広報動画の制作方法は。

**答弁** プロポーザルにより、専門的な知見のある事業者に委託するほか、職員も他都市の動画を参考に制作し、職員のスキルアップを図っていく。

## ● 防災計画等について

**質疑** 市内指定避難所182か所全てに、ファーストミッションボックスを設置することだが、中に入っている

ものは。

**答弁** 避難所運営の初動対応のための指示書やチェックリストのほか、ランタン、ペン、布テープなどを入れる予定である。

## ● ファーストミッションボックスの地域住民への周知方法は。

**答弁** 地域防災連携連絡会や防災研修会での周知を考慮しており、避難所の立ち上げ訓練を実施する際に、指示書やチェックリストを実際に活用してもらいたいと考えている。



ファーストミッションボックスの一例

## ● 高齢者補聴器装用検診事業について

**質疑** 加齢性難聴の方への支援の在り方を検証するため、モニターを募集し、先着100名に補聴器の購入助成を行うとのことだが、申請方法は。

**答弁** 耳の聞こえが悪く助成を希望する方は、補聴器相談医を受診し、加齢性難聴と診断された場合は、市の指定する補聴器販売店での相談・見積後、補助金申請が可能となる。なお、原則、電子申請である。

## ● こども医療費助成事業について

**質疑** 中学生までの医療費が無償化されるが、実施時期が8年10月診療分からとなる理由は。

**答弁** 対象者の拡充に伴い、通院や食事療養費の自己負担額などの記載がある受給者証に

ついて全面更新が必要となることや、システム改修に時間を要すること、また、ひとり親家庭等医療費の受給者証の更新時期に合わせ、実施時期を10月に統一するものである。

## ● 市立看護専門学校の実地訓練事業について

**質疑** 全国的に定員割れの看護学校が増える中、市立看護専門学校が8年度の見直しは。

**答弁** 7年度は受験者が44名減少し、定員充足が難しい状況であるが、高校卒業生数が絶対的に減少していることが主な要因である。8年度は運営委員会において、高齢者数がピークに達する2040年問題を見据えた、国の地域医療構想と照らし合わせながら、市立看護学校の役割や方向性を検討していく。

## ● アニメコンテンツを活用した誘客促進事業について

**当局説明** 本市にゆかりのある『エヴァンゲリオン』を活用し、地域の観光消費額を増加させ、地域経済の活性化を図るものである。

**質疑** 7年度に実施した事業の分析と評価は。

**答弁** 初号機の立像の観覧は、計測していた土・日・祝日の90日で3万4725人の来場があった。アンケートの回答では6割が市外からであり、国内では全都道府県、海外では台湾、中国をはじめ、アジア、欧米など幅広い国や地域からの来場であった。

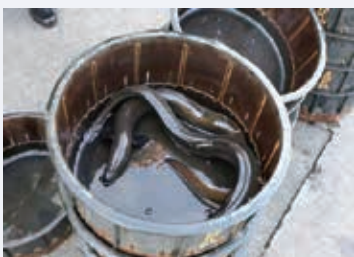
また、グルメミッションには、20店舗が参加し、約7000食、800万円の売上げがあったほか、コラボグッズ

についても、19社が参加し、44アイテムが販売されるなど、地域経済にも幅広く訴求することができた。

## ● 地産地消給食促進事業について

**質疑** 浜名湖産ウナギを提供する理由は。

**答弁** 本市が養鰻業発祥の地であり、ウナギは特産物であること、また、ウナギの現状や資源保護の必要性も含め、こどもたちに地産地消の意識を醸成していくため、まずは浜名湖産ウナギを選定したものである。



浜名湖産ウナギ

# 代表質問

3月6日には、会派を代表して3人の議員が質問を行いました



自由民主党浜松  
齋藤 和志

## 小型ラウンドアバウトの導入推進を

**質問** 生活道路の安全性向上を図る小型ラウンドアバウトについて、導入推進の状況と今後の展開は。

**答弁** 小型ラウンドアバウトは交差点の円形化により、車両相互の交錯箇所が減少するため、出会い頭事故の削減効果が高く、外径が小さいことなどから、本市でも幅員が狭い生活道路への導入に向け、箇所選定を進めてきた。その結果、交差点当たりの出会い頭事故件数が多い三方原地区内に設置箇所を選定し、設計を進める中で、県



内初となる小型ラウンドアバウトを既設交差点へ新設する工事が8年度内に完了予定である。今後、設置後の効果検証結果も踏まえ、他地域を含めた導入を推進し、生活道路の交通安全対策を強化していく。

### その他の質問

- ① 市民の暮らしを守る防災体制の構築を
- ② 上下水道の持続可能な経営基盤の構築を
- ③ 企業のグリーンイノベーションの後押しを



小型ラウンドアバウトのイメージ



市民クラブ  
花井 洋介

## 部活動地域展開は実情に応じた柔軟な対応を

**質問** 7年10月に休日部活動の地域展開に関するガイドライン案を公表したが、その後の説明会などでの意見により修正した箇所と、ガイドライン策定後の体制はどうか。

**答弁** ガイドライン案の説明会などでは、活動時間や休養日の柔軟な対応を求める声、指導者の質や人材確保の面から研修に関する要望などが多くあった。これらを受け、生徒や指導者に過度な負担が生じないよう配慮し、実情に応じた柔軟な対応を可能にするなどの



修正を行っている。また、ガイドライン策定後の体制は、国の動向や、認定地域クラブの運営状況に応じた見直しも想定されるため、地域展開後の検証やガイドラインの見直しなどを検討する新たな協議会を設けていく。

### その他の質問

- ① 庁内連携でプロスポーツチームの誘致を
- ② 年齢制限なく任意予防接種費用の助成を
- ③ バイクユーザー目線で道の駅構想策定を



道の駅構想にバイクユーザーの視点を



公明党  
幸田 恵里子

## 専門的支援を行う里親支援センターの設置を

**質問** 里親が安心して養育できるよう、里親に対し、専門性の高い支援を提供する里親支援センターを設置してはどうか。

**答弁** 里親支援センターは、民間活力を活用して里親確保と支援体制の強化を図る目的で国が制度化したものである。児童相談所が取り組んできた里親と子どものマッチングや里親支援を行うことから、職員の専門性と休日夜間体制の確保、児童相談所との連携が重要となる。一方、人事異動がある行政機関と異なる



り、継続性や一貫性を意識した人材確保と育成により、里親との継続的な信頼関係を構築できるメリットがある。現在、市内の社会福祉法人と里親支援センター設置の可能性を協議しており、今後も引き続き検討していく。

### その他の質問

- ① 多文化共生推進に向けた官民連携強化は
- ② 障害者の就労選択支援体制の質の担保を
- ③ 災害時避難所での女性への配慮の取組は



女性防災リーダー育成研修

波線(~~~~)については、10ページの用語解説を御覧ください

# 一般質問

3月9日、10日には、9人の議員が  
質問を行いました



遠山 将吾  
創造浜松・国民民主党浜松

## 人材不足を見据えた社会経済構造への認識は

**質問** 今後、建設、製造、医療などの社会基盤を支える分野での人材不足が深刻化すると見込まれているが、本市としては、どのような構造的危機と認識しているか。

**答弁** 本市の将来的な生産年齢人口の減少により、地域経済においては、増産やサービス供給の拡大ができず成長・発展の機会を逃すことや、地域が有する優れた技術の継承が困難になるなど、影響は甚大である。また、地域コミュニティの担い手不足により、地域

活動が停滞するなどの懸念がある。

人口減少局面を転換するため、行政だけでなく市民、地域、企業とともに、まち・ひと・しごとの創生に一体的かつ総合的に取り組み、元気なまち・浜松の実現を図っていく。

## その他の質問

- ① 建設業の担い手確保策等の成果と課題は
- ② ことも若者シエルト
- ③ 高校生を地域産業人材として育む取組を



高校生を対象とした合同説明会での職業紹介ブース



大城 七瀬  
市民クラブ

## 小・中学校のトイレに生理用品の設置を

**質問** 小・中学校での生理用品の提供方法について、保健室での手渡しに加え、トイレへ設置する考えはないか。

**答弁** 現在の保健室での対応は、児童・生徒への適切な保健指導や自己管理能力を育む機会となるなど、大人になるための準備として重要な支援であると考えている。また、生理用品の安全かつ衛生的な配布については、子ども基本法の基本理念も踏まえ、児童・生徒の思いを把握した上で検討する必要があると考えており、現在、ト

イレへの設置を含めた生理に関するアンケートを実施している。

今後は、アンケート結果も参考にしながら、児童・生徒にとっての最善の利益を第一に考え、学校教育の現場における最適な支援の在り方を検討していく。

## その他の質問

- ① 中心市街地の交差点改良で回遊性向上を
- ② ことも医療費無償化を高校生まで拡大を
- ③ 夏休みの臨時放課後児童会の検証結果は



市内の放課後児童会



鈴木 裕之  
自由民主党浜松

## 環状線と遠州鉄道との立体交差の早期整備を

**質問** 浜松環状線と遠州鉄道踏切部立体交差整備の進捗と今後は。

**答弁** 現在、中郡第2工区は、約8割の用地買収が完了したほか、道路排水路工事も完成するなど、着実に整備が進み、電線共同溝工事も前倒しで実施していく。また、中郡第3工区は、万斛橋の予備設計に続き、関係機関との協議を進めつつ、道路工事に必要な全ての設計を実施していく。浜松環状線と遠州鉄道交差部の鉄道高架化は、8年度の新規事業採択に向け、国へ要望する

とともに、遠州鉄道とは、基本協定締結に向けた最終調整を行っている。

今後も、円滑に事業を進めていけるよう地域へ十分な説明を行うとともに、早期事業着手に向け、関係機関などと調整を進めていく。

## その他の質問

- ① 狹川エリアにおける雨水対策の進捗は
- ② 住民主体の共助型交通への整備支援を
- ③ 外国人介護人材の確保に向けた展望は



遠州鉄道の高架化と4車線化される浜松環状線(イメージ)



久米 丈二  
自由民主党浜松

**まちなか定住促進等補助金の対象区域変更は**

**質問** まちなか定住促進等補助金の対象となる居住誘導区域の拡大や新設の予定はないか。

**答弁** 立地適正化計画では、市街化区域内の主要な拠点や公共交通の基幹路線周辺に居住誘導区域を設定し、都市機能や居住の誘導を図っている。まちなか定住促進・子育て応援環境づくり補助金は、居住誘導区域の人口を維持するため、区域内での住宅の新築や改修の費用を補助している。立地適正化計画はおおむね5年ごとに社会情勢などを確認、評価



し、区域などを見直しており、7年度に実施した評価では、土地利用の動向などに大きな変化が見られなかったため、現計画を継続している。今後も状況を確認し、評価をする中で、居住誘導区域の変更を検討していく。

**その他の質問**

- ① 三ヶ日町都筑地区の基盤整備の方向性は
- ② 三ヶ日町御園地区の浸水対策の進捗は
- ③ 雨生山湿地の保護と後世への伝承を



雨生山湿地(浜名区三ヶ日町)



丸 英之  
公明党

**国の政策動向を踏まえた金融教育の方針は**

**質問** 国は小・中学校段階から金融について体系的に学ぶ仕組みづくりを進めている。国の動向を踏まえ、本市では義務教育での金融教育の重要性をどのように認識し、今後どのような基本方針のもとで取り組むのか。

**答弁** 成年年齢引下げに伴い、国の方針として、高校での金融教育の充実が図られている。国の動向を踏まえ、本市では、自立した消費者になるために必要な資質・能力の育成が重要と考える。特に、買い物などで、お金と



物の価値を結び付けた確かな金銭感覚を養うことは、日常生活を送る上で極めて重要と捉えており、小・中学校の学習指導要領で示す「消費者に関する教育」で学んだことを高校の金融教育につなげる学習に取り組んでいる。

**その他の質問**

- ① 在浜松インド総領事館を誘致する考えは
- ② 本市事業にSIB導入の取組を
- ③ 校舎内への防犯カメラ設置拡大を



校舎内に設置された防犯カメラ



小泉 翠  
自由民主党浜松

**家康公検定の開催で浜松の魅力向上を**

**質問** 浜松城の魅力向上を図り、市民・来訪者の歴史理解を深める取組として、家康公検定を本市で開催する考えはないか。

**答弁** 本市では、過去に浜松商工会議所が家康公検定を開催した実績がある。本市での検定開催は、若者などが家康公と本市との関わりを学ぶ機会となり、「家康公ゆかりの地」としての機運醸成につながるかと考える。また、市民が家康公について学び、来訪者に伝えることで、観光客の満足度向上が期待できる。



8年は、家康公が登場する大河ドラマ「豊臣兄弟」が放送されていることから、これを機に本市でも民間事業者などに協力を依頼し、秋に開催する家康公祭りの関連イベントとしての検定開催に向け検討を進めていく。

**その他の質問**

- ① 産後ケア事業の申請理由の選択肢拡充を
- ② 節水意識の向上に向けた取組は
- ③ 選挙後にポスター掲示場資材の再利用を

〔家康公検定 2025〕

**問題28**  
 遠江を制圧した家康公は、元亀元年(1570)、新たな本拠地に移り、地名を浜松と改称しました。浜松の元の地名は何だったでしょうか？  
 (1) 引佐 (2) 浜名  
 (3) 曳馬(引間) (4) 見付

家康公検定に出題された浜松に関する問題  
出典：家康公検定ホームページ



戸田 誠  
自由民主党浜松

**文化財を守るための支援を**

**質問** 少子高齢化などにより文化財の保存や継承が困難となつているが、市の取組は。

**答弁** 文化財の保存・継承の担い手不足が深刻であることから、市全体で将来を支える仕組みづくりが求められている。そのためには、文化財の魅力を分かりやすく発信し、文化財と社会をつなぐ人材の確保・育成は欠かせない。本市では、文化財の維持・継承、啓発などの活動の担い手を育成するため、4年度に文化財サポーター登録制度を創設したほか、

担当職員は、文化財に関する各種研修を積極的に受講し、資質向上を図っている。

今後は、企業・大学などとも連携し、最新の調査事例や先進技術を用いた文化財の保存・継承・活用の方針などを探っていく。

**その他の質問**

- ① 指定管理者制度の検証結果と方向性は
- ② 開業医の偏在に対する課題と対策は
- ③ 中山間地域の愛称「オクハマ」の活用を



川名ひよんどり(浜名区引佐町)



酒井 豊実  
日本共産党浜松市議団

**合併処理浄化槽維持管理補助制度の創設を**

**質問** 単層式浄化槽などからの切替えを推進するため、下水道料金と同程度の市民負担となるような合併処理浄化槽の維持管理補助金制度を創設すべきと考えるがどうか。

**答弁** 合併処理浄化槽は使用者に法定検査などに係る費用負担がある。一方、公共下水道は都市機能の基盤の一つとして広範囲の下水道を面的に処理するもので、使用者が使用料及び都市計画税により負担しており、公共下水道のほう負担が少ないことは、スケールメ

リットとして一定の合理性があると考えられる。

ただし、負担の差が著しく合理性を欠いている場合には、実情に応じて個別具体的に支援を検討する必要がある。今後は、他都市の状況なども注視し、総合的に調査研究していく。

**その他の質問**

- ① 教育現場における平和都市宣言の実践を
- ② 中山間地域振興の事業への財源確保を
- ③ こどもの権利条例制定の検討経過は



合併処理浄化槽の保守点検



太田 康隆  
自由民主党浜松

**LRT導入の可能性調査の実施を**

**質問** 西遠都市圏都市交通マスタープランで公共交通高規格化区間と位置づける本市都心部から都田テクノ間のLRT導入の可能性を調査してはどうか。

**答弁** 近年LRTを導入した宇都宮市では、沿線に工業団地や居住区域を設置し、大規模集客施設を誘致するなど沿線全体で公共交通を支える整備を行ったことが成功要因に挙げられている。本市においても高規格な公共交通を導入する場合は、土地利用や産業立地、住宅施策など様々な視

点による全体的なまちづくりが必要である。

今後、都市計画の全体像や公共交通体系の在り方を中長期的なまちづくりの観点から見直していく中で、LRT導入の可能性についても検討し、まちの発展を実現していく。

**その他の質問**

- ① 政令指定都市移行20年の成果と課題は
- ② 浜松城跡の国史跡指定を見据えた取組を
- ③ 遠州鉄道沿線の交通結節機能の強化を



交通結節機能の強化を進める遠州鉄道小林駅周辺の区画整理区域

## 用語解説

## ※1 小型ラウンドアバウト (6ページ)

ラウンドアバウトとは、通行車両が時計回り(右回り)に走行する信号機のない円形の交差点で、円の外径が27m未満のものを「小型ラウンドアバウト」と位置づけている。

## ※2 グリーンインベーション (6ページ)

環境と経済の双方が組み合わさって、持続的な好循環を生み出す革新的な取組のこと。

## ※3 こども若者シエーター・相談支援事業 (7ページ)

虐待など様々な事情により家庭に居場所がない10代から20代までのこども・若者を対象に、一時的に避難できる安全な居場所の確保と自立した生活に向けた相談支援を行う事業のこと。

## ※4 SIB (ソーシャル・インパクト・ボンド) (8ページ)

民間事業者が投資家から調達した資金を活用して社会課題解決型の事業を実施し、行政が事業の成果に応じて事後的に対価を支払う成果連動型の仕組みのこと。

## ※5 LRT (ライト・レール・トランジット) (9ページ)

低床式車両の活用や軌道・電停の改良による乗降の容易性、定時性、速達性、快適性などの面で優れた特徴を有する次世代型路面電車システムのこと。

## 資産等の公開にかかる報告書を閲覧できます

令和8年4月に浜松市議会議員から提出された「資産等補充報告書」、「所得等報告書」、「関連会社等報告書」を、6月30日から市役所市政情報室や各区役所及び各行政センターの市政情報コーナーで閲覧できます。

なお、令和4年から7年までに市議会議員から提出された報告書は、議会事務局で閲覧できます。

## 政務活動費収支報告書等の写しを閲覧できます

令和7年度の政務活動費収支報告書及び証拠書類の写しを、非公開情報を除き、6月30日から議会事務局で閲覧できます。

また、同日から浜松市議会ホームページに掲載します。

なお、令和3年度以降の書類の写しも、議会事務局及び浜松市議会ホームページで閲覧できます。

## 政務活動費とは

政務活動費は、地方自治法の規定により制定された「浜松市議会政務活動費の交付に関する条例」に基づき、浜松市議会議員の政務活動に必要な経費の一部として、会派に対し交付されるものです。政務活動とは、調査研究、研修、広報、広聴、住民相談、要請、陳情、各種会議への参加など、市政の課題や市民の意思を把握し市政に反映させる活動、その他住民福祉の増進を図るための活動です。

浜松市議会では、会派から提出された政務活動費の収支報告書及び証拠書類の写しの閲覧などを行うことにより、政務活動費の使途の透明性確保に努めています。

詳細は、議会総務課までお問合せください。(☎053-457-2505)

# 特別委員会の活動状況

7年度の活動状況を報告します

## 大都市制度・行財政改革特別委員会



### 区再編の検証

区再編に関し、行財政改革として職員数及び組織について、また、住民自治として区協議会、地区コミュニティ協議会及びコミュニティ担当職員について検証を行いました。

協議において、委員からは、37地区が地区コミュニティ協議会の設立を検討していないという状況をどのように評価しているか、と質問があり、当局から、設立を検討していない地区では、自治会を中心に十分な地域活動ができていないという意見のほか、役員の負担増を懸念する声があると

の答弁がありました。

### 大都市制度

指定都市20市の市長・議長が連名で行う国への要望活動について協議し、大都市制度に係る様々な要望活動を行いました。

## 地方創生特別委員会



### 総合戦略

第2期総合戦略の6年度の評価などについて、委員から人口減少に対する政策は、出生率ではなく出生数を見て考えることが必要との意見がありました。

### 子ども子育て支援及び少子化対策

第2期子ども・若者支援プランの点検・評価について、委員から、こどもの生活スタイルに合わせた働き方の提案に関して質問があり、当局から、こどもの意見を聴きながら検討していくとの答弁がありました。

### 中心市街地活性化

中心市街地活性化ビジョンの策定について、委員から、福祉の視点を取り入れ、誰もが暮らしやすいインクルーシブなまちづくりを期待するとの意見がありました。

## 大型公共施設建設特別委員会



### 県が整備する新野球場

県の遠州灘海浜公園（篠原地区）活用推進協議会での協議結果について、委員から、道の駅や新武道館の整備事業といった本市が進めるべき事業について、同協議会の内容を踏まえて検討していくこととなっていくことから、今後の事業進捗への影響を懸念しているとの意見がありました。

また、各事業を計画どおり進められるよう、本市の意見を同協議会にしっかりと伝えたいとの意見がありました。

### 新清掃工場の建設

西部清掃工場更新事業の進捗状況について、委員から、新工場に更新後の売電量について質問があり、当局から、年間では現行の約7倍程度にまで増加する見込みであると答弁がありました。

## 危機管理・交通政策特別委員会



### 災害対策

浜松市国土強靱化地域計画を改定することについて、委員から、計画に位置づけている重点化施策は予算を必要とするものが多いため、庁内で優先順位をつけ、必要な予算を確保するよう意見がありました。

### 新型コロナウイルス対策

浜松市新型コロナウイルス等対策行動計画を改定することについて、委員から、専門人材の育成に関する質疑や、計画の改定後は、定期的な訓練や検証により、見直しポイントを確認し、改善を行うこととで実効性のある計画にしてもらいたいとの意見がありました。

### 公共交通

西遠都市圏における都市交通マスタープランの策定について報告がありました。

## 天竜区特別委員会



### 8年度末までの取組

取組内容、年間活動計画について協議し、8年度末までに、天竜区での現地調査、天竜区5地区の住民との座談会による意見交換を実施し、天竜区民と議会をつなぐ仕組みづくりを行っていくことを確認しました。

また、各会派が作成した仕組みづくりの案をもとに、委員間で協議を行った結果、2年1サイクルの実施計画案をたたき台とし、地域住民との意見交換を踏まえ、修正しながら仕組みづくりを行っていくことを確認しました。



天竜区で開催した天竜区特別委員会

発行／浜松市議会〒430-8652 浜松市中央区元城町103番地の2  
編集／浜松市議会事務局  
印刷／株式会社アプライズ



浜松市議会では、インターネットによる本会議・委員会のライブ中継と録画配信を行っています。ぜひ御覧ください。

### 高校生との座談会を行いました

8年2月4日、浜松市立高等学校の生徒13名と市議会議員12名による座談会を開催しました。同校で毎年実施している政策提言発表会を市議会議員が見学し、発表内容である「教育」、「健康福祉」、「ものづくり」、「農業・水産」をテーマに意見交換を行いました。



高校生からの「輸送機器産業とIT産業を組み合わせた新産業の創出」「野菜の摂取量を増やすためのイベント開催」などの具体的な提案に、議員からは「貴重な意見を聴くことができた」「新鮮な視点に驚いた」といった感想がありました。

また、参加した高校生からは、「初めての機会緊張したが、話しやすかった」「もう少し話をしたいと思えるくらい意味のある時間だった」などの声をいただきました。

今回の座談会を通じて、世代を超えた対話の重要性が再認識されました。市議会では、今後もこのような取組により、市民の声を市政に反映させていくことを目指していきます。



再生紙を使用しています



不要になればリサイクルへ

紙面に関するお問合せ  
浜松市議会事務局 調査法制課  
☎053-457-2513

〔6月〕  
10日 議会運営委員会  
11日 本会議(代表質問)  
12日 本会議(一般質問)  
15日 本会議(一般質問)  
16日 各常任委員会  
23日 議会運営委員会  
24日 本会議(採決・5月定例会閉会)

〔5月〕  
11日 各常任委員会  
21日 議会運営委員会  
25日 議会運営委員会  
28日 本会議(5月定例会開会)

今後の議会活動の予定